

すずかけの花言葉は「天才」「非凡」。古代ギリシャの哲学者たちが、プラタナスの樹の下で語りあったことからきているそうです。ただ今、若き哲学者である皆さんに、歴史と伝統のある中央聴覚支援学校の卒業証書を授与させていただきます。

本科のみなさん。学校の最高学部の先輩として、生徒会活動や文化祭などの行事では積極的に後輩たちをリードしました。授業や学校生活で難しい課題にぶつかっても、我慢強く、その課題に向き合っている表情は素敵でした。進路決定までにはたくさん悩み、相談したことでしょう。それでも最後は自分で決めたということは大切なことです。

専攻科のみなさん。校長は、この学校が皆さんにとって、社会へ出るまでのシミュレーションの場であってほしいと願っていました。皆さんは自分のことだけでなく、後輩や学校のために、熱き思いで「すずかけ工務店」を設立し、自己実現のモデルを示してくれました。



こうしてたくさんの思い出をつくり、後輩たちに道を拓いた皆さん

これからは働く人、学びを続ける人、それぞれの道を歩みます。これまでの友情を大切にしつつ、新しい出会いにも期待していることでしょう。旅立つ皆さんに、校長からは「ライバル」を持つことを提案します。

今、日本では「他人とは競いたくない」と考える人が多いといわれています。学生や若い社会人も、「競争」を避ける人がいます。それは「負けるのが怖い」という思いと、自分が勝つことで、相手に嫌な思いをさせたくないからです。

一方、競争が極端になくなることで、結果的に「みんなで同じように」といった同調圧力や、「自分だけががんばることは避けよう」という面があるように思います。そんななか、どうやって自分を高めていくのか？ 成長していけばいいのか？ それには、現在の自分より、「少し先の目標」を具体的に持つことです。そして、「ライバル」を見つけることです。ライ

バルを通して、自分の今の力を見ることができれば、そこからの小さな成長、ささいな変化に気付けるようになります。

自分の周りの「気になる人」「がんばっている人」を見つけ、「小さな挑戦」や「もう一步の努力」をしてみてください。

うまくいかないことがあるかもしれません。意識したライバルに負けた、と思うことがあるかもしれません。

決して他人と比べて、自分をダメだと思ふ必要はありません。ライバルを意識して挑戦した時点で成長しています。

そして、もう一人の、最強のライバルである、「以前の自分自身」を超えていることになります。

保護者の皆さま、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。我が子の幸せを誰よりも願う保護者様とともに、お子様の成長を見守ることができ、教職員一同、お礼申し上げます。これからは、お子様は予測が難しい社会を生き抜くことになります。不安も尽きないことかと思ひます。しかし、お子様の力を信じ、お子様なりに一步一步、社会で活躍する姿を、これからも見守っていただければと思ひます。

最後になりましたが、本日はご多忙な中、卒業生の晴れの門出をお祝いにご臨席いただいたご来賓の皆さま、ありがとうございました。今後も、本校へのご支援のほどよろしくお願ひします。

本校の「すずかけの樹」のもとで学んだみなさんの可能性は無限です。卒業生のみなさんが、母校の誇りを胸に、自分らしく歩んでいくことを期待し、式辞とします。

卒業おめでとう！

令和7年3月3日

大阪府立中央聴覚支援学校長 吉田 伸哉

